

平成 28 年度 廃棄物処理業者向けフォーラム

「生き残るために～廃棄物処理業界の今後～」の実施結果について

栃木県環境森林部廃棄物対策課

1 取組の趣旨

廃棄物・リサイクル産業は、県民の生活や地域の経済活動を支える重要な産業であり、また、循環型社会の形成、災害廃棄物の処理等、様々なシーンで重要な役割を果たしており、今後も更なる成長が期待されます。

そこで、県と関係団体では、廃棄物処理施設に対する県民理解促進事業の一環として、廃棄物処理業者等を対象としたフォーラムを開催しています。

今回は、産業廃棄物処理業経営塾の塾長でもある公立鳥取環境大学 客員教授 田中 勝 先生を講師にお招きし、廃棄物処理業界の今後の展望と、処理業者に求められる「力」について講演いただきました。

2 開催日時

平成 29 年 2 月 21 日（火曜日） 14：00～16：00

3 会場

コンセーレ（栃木県青年会館） 大ホール
（宇都宮市駒生 1 - 1 - 6）



4 参加者

89 名（廃棄物処理業者 58 名、その他 31 名）

5 内容

(1) 講演「生き残るために～廃棄物処理業界の今後～」

講師：田中 勝 氏

公立鳥取環境大学 客員教授
(公財)廃棄物・3R 研究財団 理事長
(株)廃棄物工学研究所 代表取締役研究所長



(2) 意見交換

6 結果等

講演では、「温暖化」、「資源の浪費」及び「生態系の破壊」の問題を『今地球がかかっている病気』と例えて、「廃棄物の適正処理」や「再生利用」を行う廃棄物処理業は『治療』を行う重要な役割を担っていること等をお話いただきました。この中で、日本の廃棄物処理技術は非常に高く、今後、さらに成長していくためには「ライフサイクルアプローチ」や「スケールメリット」を考えると、また、グループ化等による幅広い事業展開を考えていくこと等について、世界の廃棄物処理事情を踏まえながら、熱心に御説明いただきました。

アンケートの結果では、多くの参加者から「参考になった」又は「ある程度参考になった」との回答を頂きました。

平成 28 年度 廃棄物処理業者向けフォーラム アンケート結果

参加者：89 名 有効アンケート回答数：78 件

（単位：名）

Q.1 あなた又はあなたの会社は、次のどれに該当するか教えてください。

収集運搬業者	処分業者	排出事業者	県市町等	その他
36	16	7	13	6

複数該当の場合、 処分業者（処分業者でない場合は 収集運搬業者）として計上

Q.2 今回のフォーラムをどのようにして知りましたか。

ホームページ	新聞	関係団体のお知らせ	その他	無回答
14	5	53	5	1

Q.3 今回のフォーラムに参加した理由を教えてください。

事業の参考にするため	29
廃棄物処理業界の状況等を知るため	29
講演内容に興味があったため	13
講師に関心があったため	6
その他	0
無回答	1

Q.4 講演及び意見交換について

(1) 時間はいかがでしたか。

ちょうど良い	長すぎる	短すぎる	どちらでもない	無回答
61	2	1	8	6

(2) 内容はいかがでしたか。

参考になった	ある程度参考になった	あまり参考にならなかった	参考にならなかった	どちらでもない	無回答
29	31	6	4	0	8

<参加者の感想等>

- ・ 廃棄物処理の世界事情が分かり、日本でもビジネスチャンスがあることが分かった。
- ・ 日本から廃棄物処理業のメジャー企業を誕生させるテーマを考えていくと面白いと思った。
- ・ グローバルな内容で、話の規模が大き過ぎて、自社の規模では参考にしにくかった。
- ・ 考え方を大きく出来た。小さいアクションに活用したい。
- ・ 具体的なスケールメリットの説明により、将来のビジョンが持てた。

Q.5 今後取り上げて欲しい内容（複数選択可）

今後の廃棄物行政の方向性	33
廃棄物処理業に係るコンプライアンス	21
優良な廃棄物処理業者の事例発表	20
廃棄物処理施設の地域共生事例講演	13
その他	1

以上